



計画策定の背景・目的

背景

昨今、国では菅総理大臣が「**2050年カーボンニュートラル**」を表明するとともに、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で46%の削減を目指すこととしています。また、長野県では「**気候非常事態宣言**」の発表や「**長野県ゼロカーボン戦略**」を策定し、地球温暖化対策に関する取り組みが進められています。

目的

富士見町では、地域の多様な資源を最大限活用しながら環境・社会・経済の同時解決を目指す「**地域循環共生圏**」の考えに基づきゼロカーボン実現に向けた総合的かつ具体的な取り組みに関する行動計画として「**区域施策編**」を策定します。



計画の位置づけ

「**地球温暖化対策の推進に関する法律**」及び「**気候変動適応法**」に基づき策定しています。また「**富士見町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）**」や「**富士見町脱炭素ビジョン**」等上位計画との整合を図り、総合的に推進するための計画として位置づけています。

次回（広報5月号）は、「富士見町の自然的特徴」について紹介します。

～自然環境と共生しながら脱炭素で豊かな暮らしを実現するまち～